

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294200759		
法人名	有限会社 花音		
事業所名	グループホーム花音(Aユニット、Bユニット合同)		
所在地	静岡県静岡市葵区水道町126-1		
自己評価作成日	平成28年2月 4日	評価結果市町村受理日	平成28年3月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigvoCd=2294200759-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成28年2月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者、職員とも安全、安心、快適に過ごせるよう、職員全員が施設運営の改善に取り組み、日々改善点を挙げ、より良い環境作りを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平均年齢55歳と職員はやや高齢となっているもののプラスに反映しており、お嫁さんの、息子的な関わりには信頼と安心が滲みます。朝にはタオル体操やボールリハ、昼食前に嚙下体操、食後の休憩をはさんで椅子に座ったままのストレッチと“身体を動かす、Bユニット、“歌をうたったりお話、が得意なAユニットと時間の使い方はユニット色ができていますが、シフトは2つのユニットを1本化させているため職員は全員のことがとくわかっていて対応がスムーズです。また、室内はもとより花壇も手入れされ駐車場からエントランスにもゴミ一つない様子から5Sが覗え、清掃は利用者も手伝い生活リハビリも自然に定着しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全職員が理念を理解し、日々意識しながら前向きに働き、利用者の環境向上に努めている	唱和したり小テスト等理念を日々言い合っているわけではありません。また管理者も特段中心に据えてはませんが、話し合いにおける職員の意見には意識が滲むことがあります。	理念というよりも「どこをゴールとしているか」「どんな事業所を目指しているのか」について一度協議することを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事ごとにボランティアの方に歌や芸を披露して頂いている	町内会長が交替したことを契機に挨拶を兼ね「交流に意欲的である」ことを改めて伝えています。目の前のスーパーマーケットとは顔見知りとなり、買い物カートを専用としてもらえています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	市介護課、包括、家族らと問題点等、話し合いをし、よりよいアドバイスを頂いている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的会議を通して、改善点のアドバイスを頂き、サービス向上に活かしている	新町内会長ならびに民生委員ともに「昼間開催では時間が作れない」とのことですが、訪問マッサージ院長の参加もみられ、地域包括支援センター職員からは具体的な助言が挙がっています。	町内会長、民生委員については「6回のうち1回を夜間にする」といった何らかのフォロー的施策の検討を期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議への出席のお願いや、生保担当者との関わりから、アドバイス等を頂き、協力関係を築くよう努めている	市役所ならびに地域包括支援センター職員からは運営推進会議を通じて事業所の取り組みを理解してもらえ、また評価の言葉があったことを書面確認しました。	市役所窓口へ案内は届けていますが、今後は議事録についても期待します。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本は身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、著しく目に余る自傷行為をされる方には家族の同意を得て、ミトンを使用し、怪我を防いでいる、ベットからの転落の危険性が予測される方のみベット柵の設置を行っている。	玄関は自動ドアでユニット間に施錠はありません。また職員に質問したところ明瞭な説明があり、知識の標準化が成されていると受けとめました。皮膚保護のためのミトン使用者が現在1名おり、家族の了解をとっています。	ミトンについては一時性、切迫性、非代替性の書面を作成してません。急ぎの用意とともに書面化の重要性について省みることを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が虐待防止の勉強をし、知識を深めている、また、入浴、着替えの際、外傷の有無等、厳しく目配りチェックをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修や利用者状況によって制度の必要性、理解をし、学ぶ機会の支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関する説明には十分な理解、納得が頂けるような説明を心がけている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期会議での意見や、外部評価アンケートの意見を的確にとらえ、運営に反映させている	運営推進会議には過去面会がなかった家族が出向いてくれたとの嬉しいエピソードもあります。外出には車いす利用の人も増えたため地域行事には家族の協力を得ています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の状況やミーティング時の意見、提案を含め、迅速に対応し、職員に反映している	清掃状況一つとっても職員の真面目さが伝わるものの、責任が伴うような事柄には消極的な面があり、それが会議での発言にも重なっています。そのため直接言ってくれていることを管理者が声をかけています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、環境整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップの為に、法人内外の研修を増やし、職員全体に浸透出来るよう進めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修の中で、同業者と交流する機会があるが、一部の職員のみになってしまう		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日々のコミュニケーションにより信頼関係が出来ている為、問題が大きくなる段階で改善され信頼関係はより深くなっている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	来所される家族に日々のくらしの様子を話しながら、不安、要望などを伺っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族は困って入所させたい気持ちもあり良い行動を話される事もあり、一定期間様子観察してから支援、対応策を考慮する		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の尊厳を大切にしながら、日々のコミュニケーションを通して、共に過ごしていける関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人を支える家族と職員のより良い関係を築き、支援に努めている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の方が来所された時、笑顔でお迎えし、また来ようと思っ頂けるように接する	ボランティア訪問のある日は「今日は大丈夫ですか？」と問い合わせもあるほど、事業所の運営に配慮しつつ努めて面会くださる家族が大半です。毎月1～2泊自宅に戻る利用者もいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中は、共有スペースを活用し、全員での体操やレクを行い、利用者同士が関わり合えるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	本人、家族の要望に合わせて、適切な相談や支援に努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個人の尊厳を尊重し、個人の希望に耳を傾け沿えるように検討、支援している	個人記録簿をはじめ書面記載はありますが、以前からの情報が立ち消えてしまわないようホワイトボードを設置しています。変更点や留意点が一目でわかるため、漏れなく共有できています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント、家族の意見、面会の方より、情報収集に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りや、記録の共有、ミーティングでの話し合いを通して現状の把握をしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のミーティングの中で課題のある方について意見を出し合いモニタリングに反映している	訪問マッサージ院からは勉強会講師、運営推進会議、ケアカンファレンスへと足を運んでもらい、包括ケアに向けた足跡がみられます。サービス担当者会議とは謳ってはいませんが面会でプランへの合意形成があります。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人簿に身体的、精神面の様子等を細かく記入し、申し送りや、ミーティングの際に職員間で情報を共有し実践に役立っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人に対しての支援は常に臨機応変に柔軟なサービスの多機能化に取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個々の地域資源を把握し、楽しみある暮らしができるよう支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の希望するかかりつけ医と信頼ある関係作りを築いている	5名以外は月1回往診の協力医に変更し、従来のかかりつけ医を継続している利用者は家族が付添っています。週1回訪問看護がありますが、緊急時には救急車を呼ぶことになっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職は日常の中で利用者の情報や変化を気にかけて、週1回の訪問看護師に伝え相談し適切な受診や看護を受けられるように支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の医療機関とは情報交換を常に行い、利用者が安心して治療出来る様に、より良い関係作りを努める		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族と終末期等の話しをし、方向、方針を検討している	契約の段階では救急対応についての書面を交わしていますが、看取りについては心身状態に変化が生じてからとしています。此処3年実績はなく職員が全員看取りに前向きではないため、課題の一つとしています。	従来のかかりつけ医に一度は挨拶のうえ、看取りへの協力について確認することを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期避難訓練の中で消防署の協力でのもと、AED講習等を取り入れ、職員のスキルアップを身に付けている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に一定以上の避難訓練を実施している	消防計画は年5回とし、1回は消防署員に立ち合ってもらい実施しています。避難するときに足りなくなったら困るとの危惧から、当初貸与していた車いすは本人に購入してもらい、事業所として常時4台を確保しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各自の人格を尊重しながら、笑顔が出来る会話を務めている	お嫁さんの関わりがみられませんが口調や言葉遣いが優しい職員ばかりなため、よい印象が残ります。ハウスルールは充分でないものの、家族からも感謝の言葉が聞かれ、信頼と安心が覗えます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己意思決定を促す為に、職員とのやり取りの中で丁寧な言葉かけで働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調やその時の気分を把握し、利用者の希望に沿った支援が出来るように心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の身だしなみは常に職員が気を配り支援している、入浴時の着替えも利用者と職員で服選びを行っている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	温かい食事、彩り等考えながら、提供出来るように心がけている	ケイタリングの副菜は少量ずつですが4種類もつき、職員のつくった味噌汁と炊き立てのご飯を以て完食しています。日本茶が緑深く、選りすぐってくださっていると感じました。	誰も見ていないのにテレビがついていましたので、食事中はBGMに切り替えるなど改めての検討を期待します。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量やバランス、食べやすさ等、工夫し提供できるように心がけている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に毎食後、口腔ケアを行い確認し、出来ていない方は職員が補足して清潔保持に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄管理票のチェック、個人の様子、排泄困難な方には声をかけ、尊厳を重視し見守りながら自立を促す	食事前の定期誘導以外は排泄チェック表を基にパターンを把握して声かけしています。以前は夜間に60回トイレに起きる症状の人もいましたが、職員は熱心に対応しています。	ボックスの個人名はイニシャルや数字に替えることを期待します。また蓋なしの便器はこのまま取り付けないのであれば衛生についてあらためて確認ください。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の無い日が続いている時は、牛乳等、水分を増やし薬を使わないよう体に負担をかけないようにしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	各自の体調や外出の都合を考慮して順番や日時を変更している	タオルが整然と並び、モノの置き場所が決められた脱衣所と水垢さえない浴室は気持ちのよい空間です。すべりやすいことを心配し、本年は手すりを新たに3本取りつけています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の尊厳を尊重し、個人の希望に耳を傾け沿えるように検討、支援している様子に気を配り、生活習慣や身体的低下、年齢により休息が必要な方には個別に対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報、服薬シートのチェック、身体状況を把握して理解、支援に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各自の能力を把握し、家事の手伝いが出来る人には職員と一緒にいって行い、気分転換に努めている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は庭の散歩、外出支援により、花の鑑賞や探索をしている	戸外では息切れしたり車いす利用となることから、日常的な散歩が減っています。時節に合わせて洞慶院への紅葉狩りや「お雛様の展示会に行こうか」と近隣での愉しみを職員が外出レクリエーションとして企画しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設では個々におこずかいとして、家族からお金を預かり希望に応じて使えるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族、知人、本人の連絡など希望に応じてそのつど支援をしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、定期的に浴室やフロアー、トイレの掃除を行ったり、温度や湿度を保ち快適に過ごせるように努めている	室内はもとより花壇も手入れされ駐車場からエントランスにもゴミ一つない様子から5Sが定着していることが見え、清掃は利用者も手伝います。椅子の脚にテニスボールを取付け、スムーズに動かせるよう工夫され、リビングの床も最近貼り替えています。	ラベルも活用し大変よく整理されていましたが、棚の最上部に物が置かれていましたので、改善を期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各個人の居室と共用空間のエリアは各自が自由に行き来出来る様にしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、家族と相談してレイアウト等、居心地良く過ごせる様に工夫している	窓から優しい光が注ぎ、照明をつけなくても十分明るい居室です。面積は決して広くはなく大きな筆筒は望めませんが、天井が高くロフトがあることで独居からの入所ですべて持ち込んだ人もいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	杖の位置や椅子等の位置も各個人の状態w考慮してレイアウトしている		